

保護者の皆様へ

鳴門西小学校長 内田 洋一

学校教育に関するアンケート集計結果について

梅花の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育に温かいご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、学校の教育活動をより充実したものにするために12月にアンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。児童と保護者の皆様のアンケート結果を報告させていただきます。結果を踏まえ、今後の学校経営に生かしていきたいと考えています。

No	学校教育に関する 児童アンケート	パーセント
1	先生は、毎日の授業を分かりやすく教えてくれる。	97.9
2	漢字や計算の力がついてきている。	87.0
3	テストでは、思い通りの点数が取れている。	75.0
4	進んで運動し、体力づくりをしている。	79.6
5	授業中、人の話を集中して聞いている。	90.0
6	宿題をきちんとしている。	93.8
7	グループで調べたり、話し合ったりする学習が好きである。	88.4
8	テレビやタブレットを使った学習が好きである。	88.0
9	自分には、よいところがある。	84.2
10	先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる。	90.4
11	物事がうまくいかない時、ねばり強くがんばり続けることができる。	84.3
12	正しいと思うことを自分で考え、判断し、行動するようにしている。	88.4
13	身の回りの整頓は、自分でしている。	83.0
14	朝は、決まった時間に起きている。	78.4
15	先生、友だち、地域の人に進んであいさつをしている。	89.9
16	学級の係や当番の仕事、そうじなどに、進んで取り組んでいる。	93.8
17	学級、学校の一員として、考えて行動している。	90.0
18	地域の行事などに参加している。	61.4
19	先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談にのってくれる。	89.4
20	学校へ行くのが楽しい。	83.8
21	事故などにあわないよう、いつも気をつけている。	96.3
22	避難訓練などは、真剣に取り組んでいる。	95.4
23	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	95.0
24	地域の方に感謝して過ごしている。	90.0
25	家では、ほとんど毎日、お手伝いをしている。	67.1
26	わたしは、読書や読み聞かせを楽しみにしている。	74.2
27	学習中、すすんで発表している。	65.4

パーセントは、肯定的な意見（よくあてはまる・ややあてはまる）の合計です。

No	学校・家庭での学習や生活に関する保護者アンケート	パーセント
1	子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。	77.7
2	子どもは、漢字や計算などの基礎・基本的な力が定着してきている。	83.2
3	学校は、学力定着に熱心に取り組んでいる。	76.3
4	学校は、子どもの体力作りに熱心に取り組んでいる。	77.7
5	学校は、人の話を聞くなど学習規律の定着に熱心に取り組んでいる。	81.4
6	子どもは、家庭学習(宿題)をきちんとしている。	85.7
7	子どもは、自分のよいところを理解している。	73.9
8	子どもが、よいことをしたときは、積極的に褒めている。	91.9
9	子どもは、何事にも粘り強く取り組んでいる。	67.7
10	子どもは、正しいと思うことを、自分で考え、判断し、行動しようとしている。	80.2
11	子どもは、自分の身の周りのことを自分でしている。	72.7
12	子どもは、ルールを守る意識が育っている。	87.0
13	子どもは、先生、友達、地域の人に進んであいさつをしている。	73.3
14	子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている。	90.1
15	子どもと社会や将来のことを話し合っている。	68.3
16	子どもは、学校のことをよく話してくれる。	83.2
17	子どもは、楽しんで学校に行っている。	90.0
18	子どもが、交通ルールを守るよう働きかけている。	91.3
19	子どもと防災のことについて、家で話し合っている。	59.9
20	学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる。	73.9
21	学校から、情報が十分発信されている。	75.6
22	家庭は、学校の目標や方針を理解し、学校とともに子どもを育てようとしている。	80.8
23	子どもは、地域の方に感謝して過ごしている。	59.6
24	家庭では、子どもにほとんど毎日手伝いをさせている。	56.5
25	子どもは、読書や読み聞かせを楽しみにしている。	57.1
26	子どもは、学習中進んで発表していると思う。	51.0

これらの結果から、今後本校では次のような取り組みを考えています。

あいさつ活動を通して

- ・児童の自尊心を高める取り組みを継続していく。
- ・家庭・地域と共にある学校として、体験活動等を通し地域の一員としての自覚を養うことができるようにする。
- ・相手を思いやる心やコミュニケーション力の育成に努める。

学校運営協議会委員の方々より

- ・小学校では、五感を働かせた体験活動で素地をつくったり、自由に考える時間を持ったりすることが、将来の学力向上に結びつくと考えている。PTAと地域の方々が共に協力して、子どもの体験活動の場を広げていきたい。
- ・お手伝いから家族のために役に立つ気持ちや家族の一員になった気持ちが育ち、自己肯定感が生まれ生きる力となる。ぜひ、取り組みをしてほしい。